

タイルピアノ 夜に響く

とうしん学びの丘エール

初のナイトミュージアム



タイルピアノで演奏を披露する子どもたち＝多治見市
虎溪山町、とうしん学びの丘エール

った。タイルピアノは15
日まで展示され、自由に弾
くことが出来る。
(織部俊太郎)

東濃信用金庫の創業100周年記念事業の一環として、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで、初となる一夜限りのナイトミュージアムと演奏会が開かれた。223人が訪れ、普段とは一風変わった雰囲気の中で音楽や美術品を鑑賞した。

施設内にある「とうしん美濃陶芸美術館」の開館時間を3時間延長して午後8時までとした。演奏会では、タイル名称統一100周年を記念して制作されたタイルピアノで、地元のピアノ教室に通う子どもたちが演奏を披露。多治見西高校の箏曲部によるパフォーマンスもあった。

美術館の中心にそびえ立つダイオウマツのライトアップや配管を利用したイルミネーションも見られ、幻想的な空間が広が